

厚生労働行政推進調査事業費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)
分担研究報告書

科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究

「新鮮凍結血漿使用ガイドラインの改訂」

研究分担者 長谷川 雄一 筑波大学 教授

研究要旨

新鮮凍結血漿は主として欠乏した凝固因子の補充に使用される。近年、大量出血に際して早期に大量補充し止血コントロールを行う重要性を示す報告が積み重ねられている。一方で大量出血以外の輸血に関して科学的根拠をもった使用法は、十分検討がなされていない。我々は新鮮凍結血漿の使用に関し学術論文を収集、解析し大量出血時のみならず非大量出血時に適切に新鮮凍結血漿を使用するガイドライン作成を目指している。前回と同様のクリニカルクエスチョン3項目において、2022年9月までに発表された論文をスクリーニングし、929件の文献がヒットした。二次選択した229論文の読み込み作業中であり、その後推奨度の決定を行い、本文の作成を行う。

A. 研究目的

新鮮凍結血漿の科学的根拠に基づく使用ガイドラインを改訂する。

F. 健康危険情報

該当なし

B. 研究方法

2017年3月1日～2022年9月30日に報告された査読ある新鮮凍結血漿に関する論文を検索式に設け一次抽出し、更にガイドライン作成に貢献しうる二次検索を行う。

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

(倫理面への配慮)

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に準拠した。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

C. 研究結果

一次論文は929件抽出された。更にそこから二次抽出を行い、232件を選んだ。フルテキストをその内の229件で入手し、二次選択を行った。半数の項目でPICOをリストアップし、残りの作業を行っている。

D. 考察

新鮮凍結血漿の使用に関わる論文数は2019年改訂で検索された論文よりはるかに増加しており、作業量が増えている。現在選択した論文の解析を行っており、推奨度・決定度を本文の執筆に取り組む予定である。

E. 結論

FFPガイドライン作成のための二次選択を終了し、現在論文の読み込み作業中である。